みんなに愛された産直たまご 24年間の感謝を込めて

組合員さんにもおなじみの「産直桃色たまご」および「産直たまご（白）」の終売に伴うお知らせと、木下ファーム木下さんへ頂いた組合員さんの声をご紹介します。

産直終了について

現在、宅配・店舗で供給しております「産直桃色たまご」「産直たまご（白）」ですが、生産者の「有限会社木下ファーム（代表：木下辰巳）」が施設の老朽化と木下様自身の年齢及び後継者不在を理由に事業を縮小されることとなり、誠に残念ではございますが、2022年9月末をもって取り扱いを終了することとなりました。それに伴い、㈲木下ファームとの産直協定も終了となります。

㈲木下ファームのたまごを産直として取り扱い始めてから24年、組合員の皆様に長きにわたりご愛顧いただきましたことに感謝申し上げますとともに、これまで産直事業へご協力いただきました木下様に心から感謝申し上げます。

木下さんからのメッセージ

木下ファームをここまで育てていただいたのは、生協のおかげで大変感謝しております。しかしながら、自分自身の年齢と後継者不在であること、また施設の老朽化により投資が必要であることから、生協には申し訳なく思いましたが、将来のことを考え事業を縮小する決断に至りました。お約束した9月末までご注文いただいた卵がきちんと出荷できるように努めてまいります。

組合員さんからのメッセージ

お届け終了のお知らせとともに、組合員さんへメッセージを募集したところ、各地域からのべ369通のおたよりをいただきました。たくさんのメッセージをありがとうございました。一部ではありますが、抜粋して紹介いたします。

元気いっぱいの鶏さん

木下ファームのたまごを手に取ると、元気いっぱいの鶏の姿を想像します。真っ赤なトサカで、しっかりした足で止まり木に止まる鶏。他のたまごより殻が硬く、自然な味、元気なたまごが大好きです。ありがとうございました。

（山口市　たまさん）

父も大好き！

わが家では、全員生卵が好きで、そしてなにより木下様の笑顔を信頼し、ずっと購入させていただきました。この7月に101歳になった父にも、届けてあげていました。事業を縮小されるとのことなので、またいつか出会えたら購入させていただきたいと思います。どうぞご無理をされず、お体にお気をつけください。

（宇部市　T・Iさん）

ピンクがかわいい♡

取り扱いが始まった当初から桃色たまごを食べていました。その時私はまだ子どもでしたが、幼いながらに「ピンクがかっていてかわいいたまごだなぁ」と思っていました。今では自分も母親となり、桃色たまごを楽しくおいしく食べています。安心と美味しさを本当にありがとうございました。

（下関市　C・Tさん）

「桃色」がお気に入り！

長い間「桃色たまご」を利用登録してきました。たまごは必ず使うので、安心・安全の桃色たまごを食べられていたことに感謝です。ありがとうございました。他にはない「桃色」というたまご、とてもお気に入り、大好きなたまごでした。

（萩市　K・Aさん）

宅配での

10月以降のたまごの取り扱いについて

10月からは、新たに「桃色こめたまご」と「上野さんちのたまご」の取り扱いを開始します！

桃色こめたまご

広島県世羅町の雄大な自然の中産まれたたまごです。飼料には、ポストハーベストフリーのとうもろこしと、大豆粕、国産飼料米が使用されています。また、生産者との関係を深めていくことで2022年度中に産直たまごとして供給できることをめざしています。

上野さんちのたまご

山口県下関市の自然に囲まれた高台にある鶏舎で、鶏にとって大事な新鮮な空気をふんだんに取り込みながら、常に健康な鶏の育成に心がけています。年5回、初生雛を入れて、雛の段階から育成されています。

宅配で取り扱うたまご

NEW	世羅ファーム	桃色こめたまご	10玉
	マルイ鶏卵	いろいろパック	10玉
	秋川牧園	グリーンメドー	10玉
NEW	上野養鶏	白たまご	6玉
NEW	上野養鶏	白たまご	10玉

（利用登録・おひさま通信のみ）

組合員さんからの疑問にお答えします！

Q 木下ファームはなくなるの？

A）事業規模を縮小するのみで、木下ファーム自体は存続します。

Q 木下ファームのたまごはもう買えないのでしょうか？

A）コープやまぐちの宅配・店舗での取り扱いは9月末で終了となりますが、木下ファーム直売所では継続して販売をされるとのことです。

Q 事業縮小後も継続して卵の供給をすることはできないの？

A）現在、木下ファームでは6万羽の親鶏から卵の供給を行っております。これを1万8千羽まで減らして、自らが経営する直売所と洋菓子店「木下ファーム 3つのたまご」で使用する量のみを生産することとなりました。このため、現在宅配でご注文をいただいている量のお届けも店舗での取り扱いについても難しい状態となりました。

Q 施設への投資や援助などで事業継続はできないのでしょうか？

A）事業縮小の理由は、施設の老朽化の他に木下様ご自身の年齢のこともあります。今後不慮の出来事やご自身の判断で急に生産を辞めることになったとしても生協にご迷惑をおかけしないようにしたいと今回の決断をされました。また、現行の施設については老朽化が激しく使用できない状態になったことから初生雛（しょせいひな）（生まれて数日の雛）から育てるのではなく、一定程度成長した鶏を仕入れて飼育するように変更していくとのことです。